

第五次千葉県障害者計画策定に係る各種計画等における 入所・地域移行等ワーキングチーム担当分野（案）

I 総合計画

1 入所施設から地域生活への移行の推進

- ☐ グループホームの整備促進
- ☐ グループホームの質的向上
- ☐ 重度・重複障害者等の地域生活移行の推進

7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実

- ☐ 重度心身障害者（児）医療費助成制度の現物給付化の早期実現に向けた検討
- ☐ 地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進
- ☐ 通所サービスだけでは支援が困難な障害に対する支援の推進
- ☐ 障害のある子どもの在宅支援機能の強化（再掲）→『療育』
- ☐ 重度・重複障害者等の負担軽減の推進
- ☐ 重度・重複障害者等の地域生活移行の推進（再掲）
- ☐ ひきこもりに対するアウトリーチ型支援の推進 →『精神』

II その他

1 障害福祉サービス及び相談支援並びに市町村及び都道府県の地域生活支援事業提供体制の整備並びに自立支援給付及び地域生活支援事業の円滑な実施を確保するための基本的な指針（第4期障害福祉計画関係）

第一 障害福祉サービス及び相談支援の提供体制の確保に関する基本的事項

二 障害福祉サービスの提供体制の確保に関する基本的な考え方

- 1 全国で必要とされる訪問系サービスの保障
- 2 希望する障害者等への日中活動系サービスの保障
- 3 グループホーム等の充実及び地域生活支援拠点等の整備
- 4 福祉施設から一般就労への移行等の推進 →『就労』

第二 障害福祉サービス、相談支援並びに市町村及び都道府県の地域生活支援事業提供体制の確保に係る目標 【成果目標】

- 一 福祉施設の入所者の地域生活への移行
- 二 入院中の精神障害者の地域生活への移行 →『精神』
- 三 地域生活支援拠点等の整備
- 四 福祉施設から一般就労への移行等 →『就労』

第三 障害福祉計画の作成に関する事項 【活動指標等】

三 都道府県障害福祉計画の作成に関する事項

別表第三

【定めなければならない事項】

- 三 障害福祉サービス、相談支援及び地域生活支援事業の提供体制の

確保に係る目標（精神・就労に係る部分は除く）

四 各年度における指定障害福祉サービス、指定地域相談支援又は指定計画相談支援の種類ごとの必要な量の見込みに関する事項

六 各年度の指定障害者支援施設の必要入所定員総数

七 都道府県の地域生活支援事業の種類ごとの実施に関する事項

【定めるよう努めなければならない事項】

四 各年度における指定障害福祉サービス、指定地域相談支援又は指定計画相談支援の種類ごとの必要な見込量の確保のための方策に関する事項

八 指定障害福祉サービス等に従事する者の確保又は資質の向上のために講ずる措置

九 区域ごとの指定福祉サービス又は指定地域相談支援及び地域生活支援事業の提供体制の確保に係る医療機関、教育機関、公共職業安定所その他の職業リハビリテーションの措置を実施する機関その他の関係機関との連携に関する事項

【盛り込むことが望ましい事項】

一 都道府県障害福祉計画の基本的理念等

二 区域の設定

五 県域単位を標準とした指定障害福祉サービスの見通し及び計画的な基盤整備の方策

十 都道府県障害福祉計画の期間

十一 都道府県障害福祉計画の達成状況の点検及び評価

2 国の第三次障害者基本計画

Ⅲ 分野別施策の基本的方向、推進体制)

1. 生活支援 ※人材、高齢化関係
2. 保健・医療 ※精神保健 →『精神』
3. 教育、文化芸術活動・スポーツ等 ※教育 →『療育』
4. 雇用・就業、経済的自立の支援 →『就労』
5. 生活環境
6. 情報アクセシビリティ →『権利擁護』
7. 安全・安心
8. 差別の解消及び権利擁護の推進 →『権利擁護』
9. 行政サービス等における配慮 →『権利擁護』
10. 国際協力 →『該当なし』

Ⅳ 推進体制

1. 連携・協力の確報
2. 広報・啓発活動の推進
3. 進捗状況の管理及び評価